

事務事業評価表

○基礎情報

課名		青少年課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	6	思いやりの心とたくましく生きぬく力を育てる	岡本 隆司	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				4 人	6 人	3 人	8 人	3 人	1,310 時間	18.2 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
小学校ふれあいプラザ利用者数	29,475人	31,600人	26,225人	29,475人	33,618人	36,355人
小学校ふれあいプラザ開設校数	18校	19校	18校	18校	18校	18校
青少年会館の利用者数	162,184人	117,000人	140,887人	162,184人	149,058人	153,116人

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業
- ・ **実績** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(ゆかりのまちサミット及び宇宙記念日関連事業)	次世代を担う子どもたち等、多くの市民に宇宙、科学に関する夢を育むため、興味をもつきっかけづくりを実施する。	政策的事業				0.60	一般	407,000 ----- 179,501	ちがさき宇宙記念日及び関連事業の参加者数	400人	463人	S	
2	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業	平成21年度に策定された海岸青少年会館・福祉会館複合施設再整備基本計画に基づき、茅ヶ崎公園内に世代間交流の場として新たな機能を備えた体験学習施設を建設する。	政策的事業	●			0.54	一般	47,776,000 ----- 47,776,000	事業の進捗状況	基本・実施設計関係課協議	基本・実施設計完了	S	
3	海岸青少年会館移転事業	海岸青少年会館解体から複合施設会館までの間、代替え施設を運営し、青少年の居場所や体験学習の拠点とする。	政策的事業				0.25	一般	6,847,000 ----- 6,846,252	会館仮設棟の賃貸借期間	12か月	12か月	S	
4	子どもの家の管理業務委託	子どもの家を適切に管理するため、指定管理者へ管理業務を委託し、管理状況のモニタリング等を実施する。	政策的事業				0.10	一般	21,850,000 ----- 21,382,000	子どもの家利用者数	32,960人	38,931人	S	
5	野外研修施設等の検討	青少年の健全育成を図るための野外研修施設を検討する。	政策的事業				0.02	一般	0 ----- 0	検討会議開催数	2回	1回	A	

6	インターネット有害情報監視事業	青少年を取り巻くインターネットの有害情報を監視し、個人やクラス等が特定できる情報について、学校と連携しながら対応する。	定例・定型的事業	●			0.65	一般	1,341,000 ----- 1,309,213	小・中学校に係るインターネット上の検案件数	2,500件/月	4,238件/月	S	●
7	ジュニアリーダー養成講座の開催	子ども会の活動等地域の行事で、主に小学生に対し、ゲームや野外活動の指導を行う青少年リーダーを育成する。	定例・定型的事業				0.30	一般	103,000 ----- 71,943	ジュニアリーダー養成講座開催数	年間4回	年間5回 (参加者数:延26人)	S	
8	はまかぜコンサート・海青祭の開催(海岸青少年会館)	青少年の活動発表の場や交流活動の場づくりをする。	定例・定型的事業				0.41	一般	115,000 ----- 114,828	事業数	2事業	2事業(参加者数:2,055人)	S	
9	各種協議会と青少年対策に関する連絡調整	青少年健全育成団体の活動支援を行う。	定例・定型的事業				0.65	一般	4,622,000 ----- 4,592,280	青少年指導員連絡協議会及び市子ども会連絡協議会の理事会の開催数	年間12回	年間12回	S	
10	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(宇宙展示コーナー関連事業)	青少年や市民が宇宙飛行士の活動や宇宙、科学に関する興味や夢を育み、青少年育成を推進する。	定例・定型的事業	●			0.09	一般	4,486,000 ----- 4,319,515	1回あたりの宇宙教室参加者数	100人	198人	S	
11	子どもの安全を守る都市の推進	子どもの安全を守るため、青少年育成団体等と啓発活動を行う。	定例・定型的事業	●			0.29	一般	1,516,190 ----- 1,514,349	子どもの安全活動に係る支援学区数	19学区(通年)	19学区	S	
12	子ども会育成事業	子ども会の活動を援助する育成者や子どもへの研修を実施し、子ども会活動を活性化する。	定例・定型的事業				0.30	一般	80,400 ----- 63,886	参加児童数	190人	165人	S	
13	子ども大会の実施	学区ごとに異年齢間の交流及び地域による子どもたちの育成を目的に演奏会や運動指導等を実施する。	定例・定型的事業				0.18	一般	1,520,000 ----- 1,520,000	19校学区の実施	19学区	19学区 (参加者数:11,889人)	S	
14	自然体験教室の開催	子ども会の高学年の子どもたちを中心に様々な体験学習を通じて子ども会のリーダーとして養成する。	定例・定型的事業	●			0.36	一般	1,159,295 ----- 873,897	参加児童の満足度	80%	93% (参加者数 1回目:54名、2回目:26名)	S	●
15	成人のつどい事業	自らの力で社会の一員として力強く生きぬいていこうとする新成人を祝福、激励する。	定例・定型的事業				0.36	一般	1,381,780 ----- 1,072,591	新成人出席率	70%	59% (参加者数 1,299人)	S	●
16	青少年をとりまく環境調査及び浄化活動	社会環境実態調査及び有害図書の回収等、青少年をとりまく環境を調査し、浄化活動を実施する。	定例・定型的事業				0.17	一般	0 ----- 0	有害図書の回収	年間12回	年間12回	S	
17	青少年育成のつどいの開催	地域の青少年活動の活性化を目的として、中学生による発表、意見交換等を広く市民の皆様に見ていただく機会を設ける。	定例・定型的事業	●			0.23	一般	365,000 ----- 353,590	青少年育成のつどいの開催時期	平成28年12月	平成29年1月 (参加者数:388名)	S	
18	青少年育成指導者研修	青少年指導員の資質向上を目的に、研修を実施する。	定例・定型的事業				0.18	一般	45,000 ----- 30,000	研修実施回数	年間3回	年間3回	S	
19	青少年指導員活動支援	教育委員会及び県から委嘱を受け、市の事業等への協力や地域の青少年健全育成事業に協力してくださる青少年指導員の活動を支援する。	定例・定型的事業				0.54	一般	3,899,000 ----- 3,690,120	愛のパトロール実施地区数	19学区	19学区	S	

20	青少年対策基本方針の進行管理	茅ヶ崎市青少年対策基本方針に基づき、各課で実施している事業の進捗管理を行う。	定例・定型的事業				0.10	一般	0 ----- 0	協議会の開催回数	年間2回	年間2回	S	
21	青少年問題協議会の開催	青少年に関する諸問題を調査、審議し、課題解決のための施策を実施するにあたって関係機関と連絡調整を図る。	定例・定型的事業				0.14	一般	393,000 ----- 382,477	協議会の開催回数	2回	2回	S	
22	遊び体験教室の開催	子ども会に参加している小学生が中学進学後、ジュニアリーダーとして活動できるきっかけとなるような教室を実施する。	定例・定型的事業				0.35	一般	440,640 ----- 342,775	参加満足度	80%	83.3% (参加者数:27名)	S	
23	その他会館運営のための管理業務(青少年会館)	会館の安全な利用、維持管理、運営を図るため社会教育嘱託員の任用や夜間管理業務員を雇用する。	定例・定型的事業				2.82	一般	14,327,000 ----- 13,234,282	開館日数	306日	306日	S	
24	その他会館運営のための管理業務(海岸青少年会館)	会館の安全な利用、維持管理、運営を図るため社会教育嘱託員の任用や夜間管理業務員を雇用する。	定例・定型的事業				2.36	一般	8,635,000 ----- 6,828,319	開館日数	306日	306日	S	
25	会館管理業務委託(青少年会館)	施設の良い利用環境を維持するため館の内外における警備・清掃委託、空調設備保守点検等を実施する。	定例・定型的事業			●	0.40	一般	6,178,000 ----- 5,963,624	管理業務日数	365日	365日	S	
26	会館管理業務委託(海岸青少年会館)	施設の良い利用環境を維持するため館の内外における警備・清掃委託を実施する。	定例・定型的事業			●	0.51	一般	1,074,000 ----- 1,036,800	管理業務日数	365日	365日	S	
27	子どもの家の運営管理	小学生や幼児が地域の中で安全で安心して遊ぶことができる居場所として、施設を維持する。	定例・定型的事業				0.09	一般	359,000 ----- 358,296	子どもの家利用者数	32,960人	38,931人	S	
28	小学校ふれあいプラザ事業	学校、地域、保護者の協力により、子どもたちが安全で安心して活動できる場所を確保する。	定例・定型的事業	●			0.57	一般	18,632,000 ----- 16,098,481	年間参加人数/実施校数	31,200人/19校	36,355人/18校	S	
29	青少年会館事業(青少年会館)	青少年育成のため青年・こども・親子・一般市民・市民活動団体を対象にした事業を開催する。	定例・定型的事業	●			2.38	一般	654,000 ----- 645,190	事業数	67事業	93事業 (参加者数:延35,822人)	S	
30	青少年会館事業(海岸青少年会館)	青少年の健全な育成を支援するため、多様な体験学習等の場を提供する。	定例・定型的事業	●			1.62	一般	1,040,000 ----- 1,039,807	主催事業の開催回数	55事業	60事業 (参加者数:延35,418人)	S	
31	青少年広場の運営管理	青少年の健全な育成を支援するため、多様な体験学習等の場を提供する。	定例・定型的事業	●			1.01	一般	7,406,000 ----- 6,592,329	安全な管理	通年	通年 (赤羽根第二利用者数:8,527人、芹沢富士見台利用者数:479人)	S	
32	冒険遊び場事業	青少年が幅広く参加できる禁止事項の少ない、自然環境を生かした遊び場を提供する。	定例・定型的事業				0.13	一般	400,000 ----- 400,000	冒険遊び場事業開催数	年間12回	年間10回 (参加者数:867人)	S	
33	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.62	一般	0 ----- 0	-	-	-		

34	庁内共通事務	-	定例・定型的事業			0.77	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計						20.09	予算 決算 繰越	157,052,305 ----- 148,632,345 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>青少年課の第3次実施計画の事業数は「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き、32事業である。 これらの事業の評価結果を見ると「S」が31事業、「A」が1事業であり、ほとんどの事業で成果をあげることができた。 青少年育成の推進のため実施している茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業や成人のつどい事業については、実施会場の検討や開催通知に広告を活用すること等により事業費の削減を図ることができたため、他の事業についても引き続き事業実施にあたっての工夫を継続していく。 子どもたちの居場所づくりの一環として事業を進めている（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設については、実施設計が完了し、着実に事業を進められた。</p> <p>青少年会館の管理委託業務、その他の業務は目標どおり実施された。また、青少年会館事業については青少年育成のため青年・子ども・親子・一般市民・市民活動団体を対象にした事業を開催し、28年度は目標値を大幅に上回る過去最高の93事業（延参加者数35,822人）を展開した。 海岸青少年会館の管理委託業務、その他の業務は目標どおり実施された。また、海岸青少年会館移転事業及び各種主催事業については、仮設棟での青少年の居場所づくりを工夫した中で実施するとともに、福祉会館・ハマミーナまなびプラザ等の施設を活用し、多様な事業を目標事業数より多く展開できた。（全62事業 延参加者数37,473人）</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
6	インターネット有害情報監視事業	1人体制と限られた中で、目標値を上回る検索を実施できた。twitter及びinstagram等について既知のアカウントを一覧化することで、効率的な検索を実施したり、進級や連休及び長期休暇明け等には新たなアカウント開設がないか等、検索の視点を定めることで効果的な検索を実施した。
14	自然体験教室の開催	28年度は関係団体との協議が整わず、研修回数の見直しについては実施できなかったものの、子ども会のリーダーとしての役割を認識できるよう研修内容を見直すとともに、7月に2回の実施から、29年度は9月と2月に実施することとし、職員の事務負担の平均化につなげられるよう協議を行った。また、母体となる子ども会の活性化を図るため、2月15日号の広報紙1面に子ども会加入を促す特集記事を掲載した。
15	成人のつどい事業	新成人に送付している開催案内通知はがきに企業広告を掲載することで、費用の削減（約160,000円）を図るとともに、案内はがきを業者が作成することで、職員の作業負担の軽減につながった。また、これまでの芸能人等によるアトラクションではなく、実行委員会自らが企画、調整したアトラクションを実施した。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-